

CHOCOA Windows 版 ユーザーズガイド

chocoa-staff@irc.fujitsu.co.jp

March 31, 2005

はじめに

このマニュアルは、RFC1459 準拠の IRC クライアント **CHOCOA** のインストール方法および使用方法についてまとめたものです。まだ、執筆途中の部分が多数存在しますが、ご容赦ください。

なお、この部分の記述はおかしい、この機能はどう使うのかが記述されてない、といった御指摘は、chocoa-staff@irc.fujitsu.co.jp までメールで頂けると幸いです。

目次

1. 導入編	7
1.1. インストールしてみよう	7
1.1.1. CHOCOAとは	7
1.1.2. 必要な動作環境	7
1.1.3. 必要なファイル	7
1.1.4. とりあえず実行	7
1.1.5. インストール	7
1.1.6. アンインストールについて	17
1.2. とりあえず実行してみよう	17
1.2.1. チャンネルに入ろう	18
1.2.2. では話してみよう	19
1.2.3. 複数のチャンネルに入ろう	20
1.2.4. チャンネルの抜け方	20
1.2.5. IRCをやめる	21
1.3. 基本的な機能	21
1.3.1. チャンネルに入る(JOIN)	21
1.3.2. チャンネルを抜ける(PART)	21
1.3.3. チャンネルモードの設定(MODE)	22
1.3.4. トピックの設定(TOPIC)	23
1.3.5. チャンネル参加者の一覧(NAMES)	24
1.3.6. チャンネルの一覧(LIST)	24
1.3.7. チャンネルに招待する(INVITE)	24
1.3.8. チャンネルから蹴り出す(KICK)	24
1.3.9. ニックネームの変更(NICK)	25
1.3.10. 身元を調べる(WHOIS)	25
1.3.11. Awayメッセージ(AWAY)	26
1.3.12. IRCを終了する(QUIT)	26
2. 機能紹介編	27
2.1. WWW連携	27
2.1.1. URL抽出機能	27
2.1.2. URL引用機能	28
2.2. Internet Phone連携	28
2.2.1. Internet Phone連携の手順	29

2.2.2. 右クリックメニューへの登録	29
2.3. NetMeeting連携.....	30
2.3.1. NetMeeting連携の手順	30
2.3.2. 2. 右クリックメニューへの登録	31
2.4. キーワード通知機能.....	31
2.4.1. キーワードの設定	32
2.4.2. 会話中にキーワードが出現すると.....	32
2.5. ログ作成機能.....	33
2.5.1. 1. 会話ログ	34
2.5.2. URLログ	35
2.6. ファイル転送.....	35
2.6.1. ファイルの送信.....	35
2.6.2. ファイルの受信.....	36
2.6.3. レジューム受信.....	37
2.7. CTCPメッセージ	38
2.7.1. USERINFOの設定	38
2.7.2. その他のCTCPメッセージ.....	39
2.8. チャンネルダイアログ.....	39
2.8.1. 1. タイトルバー	39
2.8.2. 使用方法	40
2.8.3. 制限事項	40
3. 設定編.....	41
3.1. IRC設定.....	41
3.1.1. IRC設定ダイアログ	41
3.2. 一般設定.....	41
3.2.1. ユーザー	42
3.2.2. ブラウザ	42
3.2.3. Internet Phone	43
3.2.4. システム	43
3.2.5. ディレクトリ設定	44
3.3. 画面スタイル.....	44
3.3.1. 色	45
3.3.2. スタイル	46
3.4. イベントスイッチ.....	47
3.4.1. Join.....	47
3.4.2. Privmsg.....	47

3.4.3. Invite.....	47
3.4.4. Mode.....	48
3.4.5. 接続.....	48
3.4.6. NOTIFY	48
3.4.7. 終了.....	48
3.4.8. DCC.....	49
4. 高度な機能編	50
4.1. メニューを消す	50
4.1.1. メニューを消す	50
4.1.2. 消したメニューを使用する	50
4.1.3. 消したメニューを元に戻す	50
4.2. チャンネル番号	51
4.2.1. チャンネル番号の割り当て方法.....	51
4.2.2. チャンネル番号の整理.....	51
4.2.3. チャンネル番号予約.....	51
4.2.4. チャンネル番号を予約するには?.....	51
4.2.5. チャンネル番号の予約を取り消すには?.....	52
4.3. チャンネル別名(エイリアス)設定.....	52
4.3.1. チャンネルに別名を設定する	52
4.4. NAT用設定	53
4.4.1. NATとは?.....	53
4.4.2. DCC送信におけるNATの弊害.....	53
4.4.3. NAT用設定	54
5. 管理者向け機能編	55
5.1. CHOCOA設定ファイルとは.....	55
5.1.1. 設定ファイルの簡単な作り方	55
5.1.2. 設定ファイルフォーマット	55
5.1.3. 注意.....	55
5.1.4. 設定ファイルサンプル.....	55
5.1.5. ".cho"ファイルをダブルクリック時の注意点.....	56
6. 付録.....	57
6.1. ショートカットキー	57
6.2. 設定ファイルについて.....	59
6.2.1. 各セクションおよびエントリに関する説明.....	59
6.3. 設定ファイルについて.....	67
6.3.1. 同時に 2 つ以上のスクリプトを登録したい場合について	68

6.3.2. 各セクションおよびエントリに関する説明.....	68
6.3.3. 注意点.....	69

1. 導入編

1.1. インストールしてみよう

1.1.1. CHOCOA とは

CHOCOA は、IRC サーバーと呼ばれるチャット専用のサーバーに接続するためのプログラムです。Web ページ上でチャットルームを作るためのプログラムではありません。

1.1.2. 必要な動作環境

CHOCOA をインストールするには次のようなものがが必要です。

- TCP/IP ネットワークに繋がった Windows95/98/Me/NT4/2000/XP が動作している PC
- 10M 程度の空きディスク
- 数 M 程度の空きメモリ

1.1.3. 必要なファイル

CHOCOA をインストールするには、まずダウンロードのページから CHOCOA のインストールパッケージをダウンロードします。

<http://www.labs.fujitsu.com/jp/freesoft/chocoa/1.0/download.html>

1.1.4. とりあえず実行

入手したファイルを実行するとインストールが始まります。

もしもここで、「ファイルが壊れています」といったメッセージが表示された場合は、ファイルのサイズを確認してください。ダウンロードのページに記述しているファイルのサイズと一致していない場合は、ダウンロードに失敗していますのでもう一度ダウンロードしてみてください。

1.1.5. インストール

(1) ようこそ

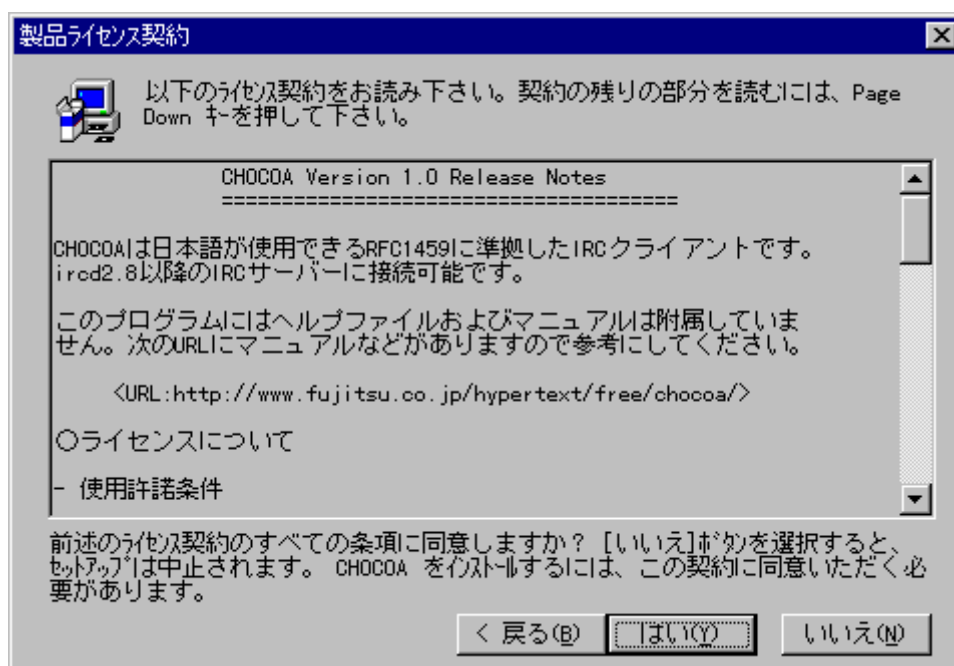
インストールが始まると、次のような画面を表示します。



表示している文章をひととおり読み終えたら「次へ」ボタンをクリックしてください。なおキャンセルボタンを押すとインストールを中止します。

(2) 製品ライセンス契約

次に表示されるダイアログは、使用許諾条件(ライセンス)です。ライセンスをよく読んだ上で同意するならば「同意する」ボタンをクリックしてください。



もし、同意できない場合は、「同意しない」ボタンを押してください。この場合、インストールを中止します。

(3) インストール先の選択

「同意する」ボタンを押すと、「インストール先の選択」画面が表示されます。文章をよく読んで上で CHOCOA をインストールするディレクトリを選択してください。



インストールするディレクトリが選択できたら、「次へ」ボタンを押して下さい。

この「次」は、以前に CHOCOA をインストールしていたかどうかで変わってきます。CHOCOA をインストールしていなかった場合は、次の「ユーザー名の設定」に進みます。もし以前に CHOCOA をインストールしたことがあれば、プログラムフォルダの選択に進みます。

(4) 設定をいつ行うかの選択

設定を今すぐ行うかどうかを選択します。



「インストールした後に設定を行う」を選択すると、プログラムフォルダの選択に進みます。この場合も、CHOCOA 起動時に、以下と同様のウィザードが開きますので、そちらで簡単に設定を行うことができます。

「今すぐ設定を行う」を選んだ場合は、「ユーザー名の設定」に進みます。

選択が完了したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

(5) ユーザー名の設定

ユーザの名前を入力してください。



ここに記述した名前は、IRC サーバーに接続したときに IRC サーバーに送信されます。また、一般的には他の IRC 利用者がこの情報を知ることも可能になっています。ご注意ください。

入力が完了したら、「次へ」ボタンを押して下さい。

(6) メールアドレスの設定

ユーザーのメールアドレスを入力します。hogehoge@example.com のような形式のメールアドレスを入力して下さい。



ここに記述したメールアドレスの@マークよりも前(左)の部分は、IRC サーバーに接続したときに IRC サーバーに送信されます。また、一般的には他の IRC 利用者がこの情報を知ることがも可能になっています。ご注意ください。

入力が完了したら、「次へ」ボタンを押して下さい。

(7) IRC 接続の設定

接続する IRC サーバーのホスト名とポート番号を設定します。



組織内の IRC サーバーに接続する場合は各組織の IRC 管理者にお尋ねください。

インターネットの IRC に接続する場合は、次のようなページを参考にしてください。なお、CHOCOA スタッフは各サーバーの運営には一切関与しておりませんので、サーバーの運用状況などへのお問い合わせは各サーバーの管理者の方をお願いします。

- IRCNet-JP <http://www.ircnet.jp/>
- ReichaNet <http://www.reicha.net/>
- FriendChat <http://www.friend.td.nu/>

なお、一般的にポート番号 6667 は非常にこみあいます。もしも 6667 以外のポートも使えるサーバーの場合には、ポート番号を 6667 以外の番号にすると速やかに接続できることが多いようです。

ホスト名の入力完了したら、「次へ」ボタンを押してください。

(8) IRC ニックネームの設定

IRC で使用するニックネームを入力します。IRC ではユーザーの識別はすべてニックネームで行なわれますので、よく考えて設定してください。ニックネームには 9 文字までの英数字が使用できます。



ニックネームの入力が完了したら、「次へ」ボタンを押してください。

(9) サーバパスワードの設定

IRC サーバによっては、特定ユーザーしか接続できないようにパスワードをつけているサーバもあります。このようなサーバに接続する場合には、パスワードをこの画面で入力します。



もしサーバーのパスワードについて何も聞いていない、知らない場合には何も入力する必要はありません。

(10) プログラム フォルダの選択

CHOCOA のアイコンを登録するプログラムフォルダを選択するダイアログが表示されます。文章をよく読んで上でフォルダ名を設定してください。デフォルトでは CHOCOA になっています。



設定できたら、「次へ」ボタンを押して下さい。

(11) ファイルコピーの開始

これまでに入力した、ファイルの転送先、および、プログラムフォルダの確認画面が表示されます。この内容で正しければ、「次へ」ボタンを押してください。



(12) 関連づけの確認

.cho と .csl 拡張子を CHOCOA に関連づけるかの問い合わせ画面が表示されます。拡張子を関連づけておくと、後々設定やスクリプトのインストールが簡単に行えるようになりますので、特に他のアプリケーションで使っていないことがない限り、チェックを入れておくようにしてください。



設定が完了したら、「次へ」ボタンを押して下さい。

ファイルのコピーが始まりインストールが終了します。

1.1.6. アンインストールについて

CHOCOA をアンインストールするには次のようにしてください。

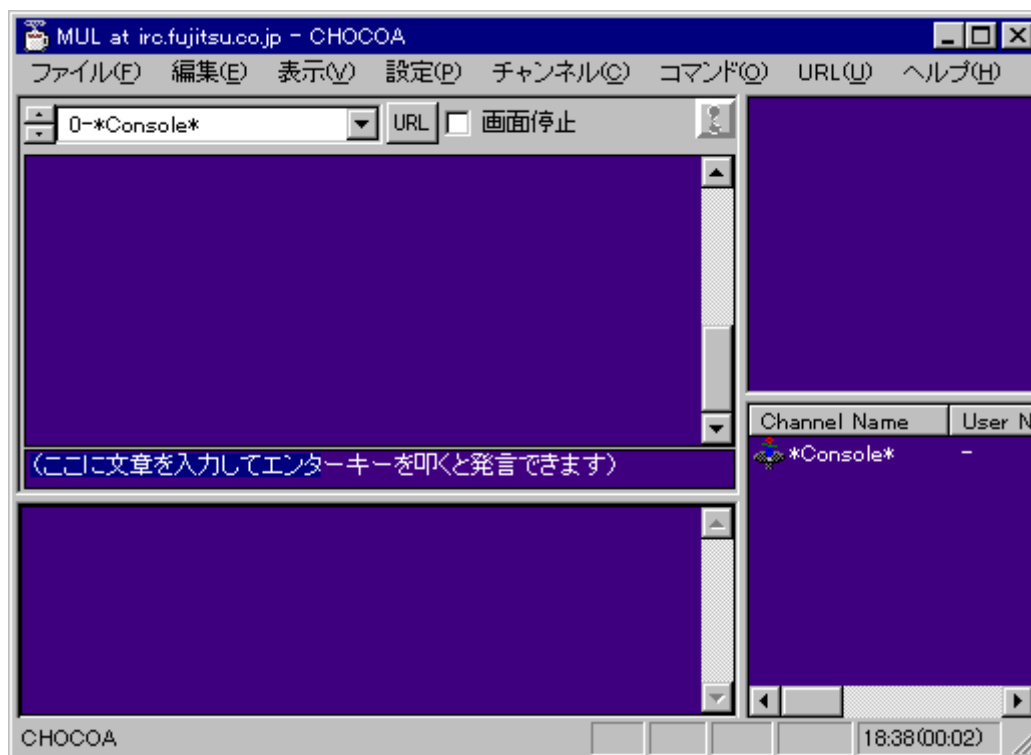
1. コントロールパネルの、「アプリケーションの追加と削除」に「CHOCOA」というエントリがあります。
2. このエントリを選択して、「追加と削除(R)...」を押してください。
3. アンインストールが始まります。

1.2. とりあえず実行してみよう

インストールが完了したら、実行してみましょう。

スタートメニューに CHOCOA のアイコンが登録されています。CHOCOA のアイコンを選択して実行してください。

実行すると次のような画面が表示されます。



インストール時にサーバーやニックネームなどを正しく設定していれば、実行した時点でIRCのサーバーに接続します（ネットワーク的に遠いところにサーバーがある場合には、接続に時間がかかる場合もあります）。

インストール時に設定を後で行うとした場合は、ウィザードが表示されますので、そのウィザードに従って、設定を入力してください。

サーバーに接続すると、サーバーからのメッセージがつつらと表示されます。もし、サーバーにうまく継らない場合には、設定が正しくないことが考えられますので、「一般設定」を参考にまず設定を見直して下さい。

1.2.1. チャンネルに入ろう

サーバーに継ったら会話してみましょう。

IRCの会話は基本的に、チャンネルと呼ばれる場所で行なわれます。このチャンネルは現実世界の会議室や部屋に相当するものです。IRC参加者はチャンネルに対して発言し、チャンネルに発言された内容はチャンネルに参加している人に配られます。IRCではこのようにして会話を行ないます。

というわけで、まずはチャンネルに入らないとなりません。チャンネルに入るには次のようにします。

1. 「コマンド」メニューの「チャンネルに入る...」を選択する
2. ダイアログが表示されるので、ここにチャンネル名を入れて OK をクリックします

これでチャンネルに入れます。

チャンネルに入ると、右のウィンドウ（**ユーザーウィンドウ**）に現在そのチャンネルに入っているユーザーのニックネームが表示されます。ときどきニックネームの前に@マークがついている人もいますが、とりあえず今は無視してください。

1.2.2. では話してみよう

チャンネルに入るのに成功したら、少し様子を伺いましょう。しばらくすると誰かがそのチャンネルで喋り出します。

CHOCOA では、チャンネル内の会話は左上の画面（**メインウィンドウ**）に、時刻や話した人のニックネームとともに表示します。すぐにでも話してみたいくなりますが、まずしばらくは他人が会話していないかどうか、また会話をしていたらどういう話題について会話しているのかを見極めるためにしばらく何もせず眺めてください。

さて会話の雰囲気をつかんだところで、実際に話してみましよう。まず発言したい内容を（たとえば、最初だと「はじめまして」とかですね）「ここに文章を入力してリターンキーを叩くと発言できます」と表示しているウィンドウ（**入力ウィンドウ**）に入力します。入力し終わったらそこで、エンターキーを叩いてみてください。左上のウィンドウに次のようにメッセージが入ります。

XX:XX >#mx:Fujitsu< はじめまして

あとはこの繰り返しで会話が行なえます。

なお入力ウィンドウで上下矢印↑↓を使うと過去に話した内容を呼び出すことができます（**ヒストリ機能**）。

1.2.3. 複数のチャンネルに入ろう

IRC では同時に複数のチャンネルに入って話すことができます。複数のチャンネルに入る方法は簡単で、一つのチャンネルに入っている状態で別のチャンネルに入るだけです。さきほどと同様の手順をふんで、別のチャンネルに入れば、複数のチャンネルに同時に入ったこととなります。チャンネルはデフォルトでは最大 10 個まで同時に入ることができます（これは IRC のサーバーの制限で、CHOCOA の制限ではありません）。

複数のチャンネルに入った場合、メインウィンドウは現在話しているチャンネル（以降メインチャンネル）の内容が表示されます。左下の画面（サブウィンドウ）には、メインチャンネル以外のチャンネルで話された内容がすべて表示されます。

入力ウィンドウに記述した内容はメインチャンネルに対して発言されます。つまり複数のチャンネルで会話する場合は、メインチャンネルを切替えなければなりません。カレントチャンネルを切替えるには、いくつか方法があります。

1. 左上のドロップリストでチャンネルを選択する
2. Ctrl+↓↑でチャンネルを切替える
3. サブウィンドウ上でマウスを使ってダブルクリックする（ダブルクリックした行の内容が発言されたチャンネルに切りかわる）

メインチャンネルがどのチャンネルかは、左上のドロップリストまたは、タイトルバーを見ればわかります。

1.2.4. チャンネルの抜け方

チャンネルの話の内容が自分にはあわないなど、このチャンネルにいるべきではないと思った時にはチャンネルを抜けてください。メインチャンネルから抜けるには「チャンネル」メニューの「このチャンネルを抜ける」を選ぶとカレントチャンネルから抜けられます。

メインチャンネル以外のチャンネルを抜きたい場合には、「コマンド」メニューの「チャンネルを抜ける...」を選びます。ダイアログが表示されるので、抜きたいチャンネルを指定してください。

1.2.5. IRC をやめる

IRC をやめるもっとも簡単な方法は単純に終了することです。終了するには、「ファイル」メニューの「アプリケーションの終了」を選びます。Windows95 ならタイトルバーの x ボタンを押しても構いません。

このようなダイアログが出ますので、「OK」を押すと CHOCOA が終了します。「OK」の代わりに「キャンセル」を押すと終了せずもとに戻ります。

このダイアログに「ICON 化する」というボタンがありますが、このボタンを押すと、CHOCOA を終了する代わりにアイコン化します。これは Windows95 では、終了を意味する「X」とアイコン化を意味する「_」がならんでいて、アイコン化するつもりで「X」を押す人が続出したためです。

なお、もう少しおとなしく IRC をやめる方法もあります。「コマンド」メニューの「IRC を終了する...」を選びます。ダイアログが表示されますので、終了する理由（帰宅、出張など）を入力し、OK ボタンを押します。これで IRC をやめられます。

1.3. 基本的な機能

ここでは、IRC が提供する次のような機能を CHOCOA ではどのように操作するかについて簡単に紹介します。

1.3.1. チャンネルに入る(JOIN)

IRC では会話はチャンネル（会議室に相当）に入って行ないます。

「コマンド」→「チャンネルに入る...」を選択します（もしくは CTRL+J を入力する）。ダイアログが表示されるので、入りたいチャンネル名を入力します。

OK ボタンをクリックすると、指定したチャンネルに入ります。

1.3.2. チャンネルを抜ける(PART)

チャンネルを抜けるには次のようにします。

- メインチャンネル（メインウィンドウ上に表示されるチャンネル）を抜ける場合には、「チャンネル」→「このチャンネルを抜ける」を選択します（もしくは CTRL+ALT+P を入力します）。
選択するとメインチャンネルから抜けて、メインウィンドウが「*Console*」に移ります。
- メインチャンネル以外のチャンネルを抜ける場合には、「コマンド」→「チャンネルから抜ける...」を選択します（もしくは CTRL+P を入力します）。ダイアログが表示されますので、抜きたいチャンネルのチャンネル名を入力します。
OK ボタンをクリックすると、指定したチャンネルから抜けます。

1.3.3. チャンネルモードの設定(MODE)

IRC ではチャンネルに対して様々なモードを設定できます。このモードの設定は、チャンネルオペレータ（名前の前に@がついている人）が変更できます。

「チャンネル」→「モードの変更...」を選択し（または、CTRL+ALT+M を入力し）表示されたダイアログに次に示すようなモードを入力すると、メインチャンネルのモードを変更できます。

表 1 チャンネルモード一覧

+o <i>nickname</i>	<i>nickname</i> の人にチャンネルオペレータ権限を与える
-o <i>nickname</i>	<i>nickname</i> の人からチャンネルオペレータ権限を取り上げる
+s	秘密(Secret)チャンネルにする
-s	秘密チャンネルを解除する
+l <i>number</i>	チャンネルに入れる人数を制限する
-l	人数制限を解除する
+t	チャンネルオペレータだけがトピックを設定できるようにする
-t	上記モードを解除する
+n	チャンネルに参加していない人がチャンネルに対

	して話せないようにする
-n	上記モードを解除する
+m	チャンネルを moderated にする（発言権のない人が喋れないようにする）
-m	上記モードを解除する
+v nickname	nickname に発言権を与える
-v nickname	nickname から発言権を取り上げる
+k keyword	keyword をチャンネルキー（パスワード）にする。 チャンネルに入る時にチャンネルキーが必要になる
-k keyword	上記モードを解除する
+i	招待された人（INVITE 参照）しかチャンネルに入れないようにする
-i	上記モードを解除する
+b nickname!uid@hostname	nickname!uid@hostname にマッチする人がチャンネルに入れないようにする
-b nickname!uid@hostname	上記モードを解除する

最初チャンネルを作った人（誰もいないチャンネルに Join した人）がそのチャンネルのチャンネルオペレータになります。また+o により他のチャンネル参加者にチャンネルオペレータ権限を与えることで、チャンネルオペレータを増やせます。

1.3.4. トピックの設定(TOPIC)

トピックにはチャンネルで今話されている話題を設定します（でも実際には設定したまま忘れ去られて、何日も同じトピックということがよくあります）。

メインチャンネルにトピックを設定するには、「チャンネル」→「トピックの設定...」を選択します（または CTRL+ALT+T を入力します）。ダイアログが表示されるので設定するトピックを入力します。

トピックには長さの制限がありますので、あまり長いトピックは設定しないでください。

1.3.5. チャンネル参加者の一覧(NAMES)

チャンネル参加者の一覧は常にユーザーウインドウに表示されています。チャンネルオペレータかどうかは、ニックネームの前に@マークがついているかどうかで判断できます。

なお、IRC サーバーのバージョンによって、ときどきこのユーザーウインドウの表示が狂うことがあります。このような場合には、「チャンネル」→「ユーザーリストを更新する」を選択してください。

1.3.6. チャンネルの一覧(LIST)

参加している IRC ネットワーク上にどんなチャンネルが存在するかを調べるには、「コマンド」→「チャンネルリストを表示する」を選択します。

ただ、この機能を組織内の IRC ではなく、The Internet 上の IRC で使う場合には注意が必要です。The Internet 上の IRC の場合チャンネル数は数千個とかなり多数のチャンネルが存在します。このチャンネルデータを転送するには何秒もかかり、その間ひょっとすると CHOCOA の反応が鈍くなる、または最悪サーバー間の接続が切れる場合もありますので、御注意ください。

1.3.7. チャンネルに招待する(INVITE)

IRC には参加している人でチャンネルに参加していない人をチャンネルに招待できます。この招待はチャンネルモードが+i の時重要で、チャンネルモードが+i の場合チャンネル内の人から招待を受けないとチャンネルに入れません。

メインチャンネルに招待するには、「チャンネル」→「このチャンネルに招待する...」を選択します(または CTRL+ALT+I を入力する)。ダイアログが表示されるので、招待したいニックネームを入力します。これで相手に招待した旨伝わります。

なおこの招待は、相手を無理矢理強制的にチャンネルに参加させるものではありません。

1.3.8. チャンネルから蹴り出す(KICK)

チャンネルオペレータは、チャンネルから人を追い出す(蹴り出す)ことができます。チャンネルに入ってくるなり勝手にわめきちらす人や、チャンネルに関係ないので出てい

くようお願いしても出ていかない人などに対して強硬手段を取ることができます。

チャンネルから人を蹴り出すには、「チャンネル」→「このチャンネルから蹴り出す...」を選びます（または CTRL+ALT+K を入力します）。

ダイアログが表示されますので、まず蹴り出す人のニックネームを入力し、OK ボタンをクリックします。

次にまたダイアログが表示され、今度は蹴り出す理由を聞かれますので、理由を入力し OK ボタンをクリックします。

これで蹴り出せるはずです。

1.3.9. ニックネームの変更(NICK)

自分の使用しているニックネームは次のような操作で変更できます。

「コマンド」→「ニックネームを変更する...」を選択します（または CTRL+N を入力します）。ダイアログが表示されるので、新しいニックネームを入力し、OK ボタンをクリックします。

なお、新しいニックネームが既に使用中であったり、またニックネームとして正しくなかったりする場合には変更されません。

1.3.10. 身元を調べる(WHOIS)

IRC にいるユーザーの情報を調べることができます。次のような情報が得られます。

- どこから繋いできているか
- どの IRC サーバーを使用しているか
- 本名
- どのチャンネルに入っているか
- Away メッセージ

これらの情報を調べるには次のように操作をします。

まず「コマンド」→「身元を調べる...」を選択します（または CTRL+F を入力する）。ダ

ダイアログが表示されますので、調べたいユーザーのニックネームを入力し OK ボタンをクリックします

1.3.11. Away メッセージ(AWAY)

席を離れる時や仕事に集中するなど、返事ができなくなるときにこの Away メッセージを設定します。

Away メッセージを設定するには、「コマンド」→「Away メッセージを登録する...」を選択します。なお、Away 状態になると、ステータスバーの時刻表示の左に「AWAY」と表示されます。

ダイアログが表示されますので、Away になる理由やいつ戻ってくるかなどを記述して OK ボタンをクリックします。これで Away メッセージが登録されます。

また席に戻ってきた時など、Away 状態ではなくなるときには Away メッセージを消去します。Away メッセージを消去するには、「コマンド」→「Away メッセージを消去する」を選択します。

1.3.12. IRC を終了する(QUIT)

「帰宅」や、「マシンリブート」などの終了メッセージをつけて IRC を終了すると、他の IRC 参加者にどうして IRC を終了するのか知らせることができます。

終了メッセージをつけて IRC を終了するには、「コマンド」→「IRC を終了する...」を選択します。ダイアログが表示されるので、終了する理由などを記述し、OK ボタンをクリックします。

2. 機能紹介編

2.1. WWW 連携

CHOCOA には次のような WWW 連携機能があります。

- 会話中の URL を自動的に抽出し、外部 WWW ブラウザを使って表示する
- 外部 WWW ブラウザで現在表示しているページの URL を引用する

外部 WWW ブラウザとして、Netscape Navigator、Microsoft Internet Explorer、Spyglass Mosaic に対応しています（以降ではこの三種類の外部 WWW ブラウザを単純にブラウザと略します）。

2.1.1. URL 抽出機能

CHOCOA では会話中に URL が含まれていた場合、URL を抽出します。現在抽出できる URL は次の形式のものです（RFC1738 で規定されているものと Netscape 拡張に対応しています）。

表 2 対応 URL 一覧

種類	URL 表記	自動表示
WWW	http:	
WWW(SSL)	https:	
FTP	ftp:	×
Gopher	gopher:	
NetNews	nntp:	
NetNews	news:	
NetNews(SSL)	snews:	
Telnet	telnet:	
Prospero	prospero:	
WAIS	wais:	
Mail	mailto:	×

自動表示に がついているものは、CHOCOA の設定が「自動表示する」になっている場合に、自動的にブラウザに表示します。この自動表示の設定は次の二種類の方法のいずれ

かを変更できます。

- 「URL」メニューの「自動的にページを開く」を選ぶ
- 「設定」メニューの「一般」を選択する。表示されたダイアログの「ブラウザ」を選び、「自動的にページを開く」のチェックボックスを ON・OFF する

抽出した URL は、「自動表示する」の設定如何にかかわらず、最新のもの 10 個を URL メニューに登録します。この URL を選択すれば、いつでもブラウザで閲覧できます。

また「URL」メニューの「詳細」を選ぶとダイアログが表示されます。

左上の画面に抽出した URL の一覧が表示されます。最新 10 個という制限はなく抽出した URL すべてが表示されます。URL のうち一つを選択すると、下のウィンドウに URL がどういう文脈で登場したかが表示されます。

この文脈を参考に、見たいと思ったページは、「閲覧」ボタンを押すとブラウザに表示します。また不必要だと思った場合には、「削除」ボタンを押すと削除できます。

また「名前をつけて保存」ボタンを押すと抽出した URL を HTML 文書形式で保存できます。なお、このボタンを使わなくても終了時に自動的に保存するようにもできます。「設定」メニューの「一般」を選びダイアログを表示し、「ディレクトリ設定」を選びます。URL ログ保存ディレクトリの、「自動的に保存」にチェックし、保存ディレクトリを存在するディレクトリを指定すれば、自動的に保存するようになります。

2.1.2. URL 引用機能

左上の画面上の URL ボタンを押すと、現在ブラウザ上で表示しているページの URL が発言ウィンドウに挿入されます。あとはエンターキーを押すだけで URL を発言することができます。

URL ボタンかわりに、CTRL+ALT+U でも URL の引用ができます。

2.2. Internet Phone 連携

CHOCOA は VocalTech 社の Internet Phone と連携し、簡単な操作で、IRC 上で会話している相手と Internet Phone で話せるようになります。なお、この連携機能は Internet Phone で話をする相手も CHOCOA を使用していなければ機能しません。相手が CHOCOA 以外の

クライアントを使っている場合にはこの機能は使わないで下さい。

なお、Internet Phone 連携機能を使用するには、Internet Phone Ver3.2 以降が必要になります

2.2.1. Internet Phone 連携の手順

1. CTRL+ALT+V を入力します。
2. ダイアログが表示されるので、Internet Phone で話したいユーザーのニックネームを入力し OK ボタンをクリックします。このときに Internet Phone が起動していない場合には、一般設定での設定に従い Internet Phone を起動します。起動後 Internet Phone での会話要求を相手に送ります。もし Internet Phone の起動に失敗した場合には要求は送りません。
3. 会話要求を受けとった相手にダイアログが表示されます。
4. ここで OK をクリックすると、Internet Phone に CHOCOA が接続要求を出します。このとき Internet Phone が起動していなかった場合は、一般設定での設定に従い Internet Phone を起動します。
5. 会話要求を出した側の Internet Phone に呼び出しがかかるので、呼び出しを受けると Internet Phone で会話ができるようになります。

このことからわかるように、Internet Phone 連携では、Internet Phone でお話をしたいと要求を出した側に、Internet Phone がかかってきますのでご注意ください。

2.2.2. 右クリックメニューへの登録

CTRL+ALT+V 以外にも、右クリックメニューに登録する方法もあります。

仕様

```
/dcc iphone nickname
```

例えば、ユーザーウィンドウのダブルクリック時に実行するスクリプトとして、

```
/dcc iphone $0
```

と記述するとユーザーウィンドウをダブルクリックするだけで Internet Phone 要求を送信できます。

また、

```
InternetPhone:/dcc iphone $0
```

とユーザーウィンドウの右クリックメニュー設定に追加すると、ユーザーウィンドウ上で右クリックして Internet Phone 要求を送信できるようになります。

2.3. NetMeeting 連携

CHOCOA は Microsoft 社の NetMeeting と連携し、簡単な操作で、IRC 上で会話している相手と NetMeeting を使って話せます。なお、この連携機能は話をする相手も CHOCOA を使用していなければ機能しません。相手が CHOCOA 以外のクライアントを使っている場合にはこの機能は使わないで下さい。

なお、NetMeeting 連携機能を使用するには、NetMeeting Ver2.0 以降が必要になります。

2.3.1. NetMeeting 連携の手順

1. CTRL+ALT+N を入力します。
2. ダイアログが表示されるので、NetMeeting で話したいユーザーのニックネームを入力し OK ボタンをクリックします。このときに NetMeeting が起動していない場合には、CHOCOA が自動的に NetMeeting を起動します。起動後 NetMeeting での会話要求を相手に送ります。もし NetMeeting の起動に失敗した場合には要求は送りません。
3. 会話要求を受けとった相手にダイアログが表示されます。
4. ここで OK をクリックすると、NetMeeting に CHOCOA が接続要求を出します。このとき NetMeeting が起動していなかった場合は、一般設定での設定に従い NetMeeting を起動します。
5. 会話要求を出した側の NetMeeting に呼び出しがかかるので、呼び出しを受けると NetMeeting で会話ができるようになります。

このことからわかるように、NetMeeting 連携では、NetMeeting でお話をしたいと要求を出した側に、NetMeeting がかかってきますのでご注意ください。

2.3.2.2. 右クリックメニューへの登録

CTRL+ALT+N 以外にも、右クリックメニューに登録する方法もあります。

仕様

```
/dcc netmeeting nickname
```

例えば、ユーザーウィンドウのダブルクリック時に実行するスクリプトとして、

```
/dcc netmeeting $0
```

と記述するとユーザーウィンドウをダブルクリックするだけで NetMeeting 要求を送信できます。

また、

```
NetMeeting:/dcc netmeeting $0
```

とユーザーウィンドウの右クリックメニュー設定に追加すると、ユーザーウィンドウ上で右クリックして NetMeeting 要求を送信できるようになります。

2.4. キーワード通知機能

会話中にユーザー指定の文字列（キーワード）が含まれていたときに、CHOCOA は次のような処理を行ない、ユーザーにキーワードが出現したことを通知します。

- キーワードを含む行をボールド体で表示する
- ベルを鳴らす。ベルのかわりに、ユーザー指定の wav ファイルを使うこともできます。
- ウィンドウを一番上に表示する
- アイコン化しているときに非アイコン化する

キーワードに自分の名前を登録しておけば、名前が呼ばれるとすぐ反応できるようになります。

注意：キーワードは他人の発言にのみ反応します。自分の発言に対して反応しません。

2.4.1. キーワードの設定

キーワード設定するには、「設定」メニューの「キーワード設定...」を選択し、ダイアログを表示します。

キーワード出現時の動作

キーワードが出現した時の動作を指定します。

BEEP を鳴らす

ベルを鳴らします。

また「WAVE ファイルを使用する」をチェックすると、ベルの代わりに WAVE ファイルが使えます。

前面に出す

ウインドウを一番前に表示します。

ウインドウの山に埋もれていてもキーワードを見逃さなくて済みます。

アイコン時は通常のサイズに戻す

アイコン化(最小化)していた場合には、非アイコン化して元のサイズに戻します。

大文字小文字の区別をしない

キーワードをチェックする際に、いわゆる半角英字の大文字小文字の区別をしなくなります。いわゆる全角の英字は、常に大文字小文字の区別をしますので注意してください

キーワードとなる文字列

ここにキーワードを入力します。キーワードは一行にひとつずつ入力します。複数入力するときは改行で区切ります。例えば、自分の名前などをキーワードにしておくと名前を呼ばれたときにすぐに反応できるので便利です。

2.4.2. 会話中にキーワードが出現すると...

キーワードを設定しておく、キーワードが出現した行が、

<noah>MUL しらないの？

のように太字で表示されます(ここでは「MUL」をキーワードにしています)。

さらに、さきほどの設定に従い、次のような処理を行ないます。

- ベルが鳴る (Wave ファイルを奏でる)

- CHOCOA が一番前に表示される
- 非アイコン化する
非アイコン化された場合には、メインチャンネルはキーワードが出現したチャンネルになります。

また、キーワードが会話中に出現すると左上の画面の右隅のボタンが赤くなります。このボタンを押すとダイアログが表示され、キーワードが出現した文脈を確認することができます。

昔へ

時間的に一つ前に出現したキーワードの文脈を表示します

今へ

時間的に一つ後に出現したキーワードの文脈を表示します

メールを出す

外部ブラウザの Mail ウィンドウを表示し、メールを出す準備をします

閉じる

このダイアログを閉じます

削除

この文脈を削除します

抽出した文脈はメモリ中に保管していますので、メモリを食い潰さないためにも適切なタイミングでいらなくなった文脈は削除してください

このダイアログを閉じると、先ほどまで赤くなっていたボタンは、非活性化します。

なお、キーワードが出現した文脈が残っている場合、CHOCOA を終了するときに、このダイアログが表示されます。仕事の最後に、今日名前が呼ばれたかどうかを確認してください。

2.5. ログ作成機能

CHOCOA では二種類のログがとれます。

会話ログ チャンネル、プライベートトークなど会話の内容

URL ログ 会話中から抽出した URL

2.5.1. 1. 会話ログ

チャンネルや、プライベートトークなど会話の内容をファイルに保存できます。CHOCOAでの会話ログはチャンネルごとになります。

会話ログを取る方法は手動と自動の二種類の方法があります。

(1) 手動の場合

手動の場合は、ログをとりたいチャンネルをメインチャンネルにして（メインウィンドウにチャンネルの内容が表示されるようにして）、「ファイル」→「ファイル名をつけてログの保存」を選びます。ファイルの選択ダイアログが表示されますので、ログをとるファイルを指定します。

なおこの方法では、メインウィンドウ上に残っている部分の会話しかファイルに保存できません。メインウィンドウはメモリ消費量を抑えるために、デフォルトでは 32Kbytes を越えた部分は捨て去るようになっています。このため、この方法ではあまりに古い会話の内容はファイルに保存されない場合があります。

(2) 自動の場合

自動の場合は、「設定」→「一般設定」→「ディレクトリ設定」を選びダイアログを開きます。

このダイアログのチャンネルログの項目に対して

1. 「自動的に保存する」にチェックし、
2. 「保存ディレクトリ」に存在するディレクトリを指定します。

この設定をした後、IRC に接続しなおすとチャンネルログが自動で保存されます。この時ログは、

{指定したディレクトリ}{チャンネル名}{日づけ}.txt

というファイルに保存されます。つまりチャンネルごとにディレクトリが作成されます（なおこのチャンネル名は、チャンネル別名設定の影響を受けます）。

また IRC のチャンネル名には、「*」など Windows でファイル名として使用できない文字を使用することができます。このためこのような文字は「%xx」（xx は文字コードを意味す

る 16 進コード)に変換します(このため「%」自身も「%25」に変換されます)。

2.5.2. URL ログ

WWW 連携機能により会話中から抽出した URL データをファイルに保存できます。これも会話ログと同様手動と自動の二種類があります。

(1) 手動の場合

「URL」→「詳細...」を選んで、URL ダイアログを開きます。

このダイアログの「名前をつけて保存...」ボタンを押すとファイルダイアログが開きますのでファイルを指定して保存します。ファイルは HTML 形式で保存されます。

(2) 自動の場合

自動の場合は、「設定」→「一般設定」→「ディレクトリ設定」を選びダイアログを開きます。このダイアログの「URL ログ保存ディレクトリ」項目に対して

1. 「自動的に保存する」にチェックし、
2. 「保存ディレクトリ」に存在するディレクトリを指定します。

URL ログは CHOCOA 終了時に指定したディレクトリに、「URL 日付時刻.htm」という形式で保存されます。

2.6. ファイル転送

CHOCOA は DCC によるファイル転送をサポートしています。サーバーを仲介せず、クライアントとクライアントの間で直接回線を張ってファイルの転送を行いません。

2.6.1. ファイルの送信

ファイルを送信するには次の二通りのような方法があります。

(1) メニューから操作する

メニューを使ってファイルを送信するには、「ファイル(F)」→「ファイルの送信...」を選択し「ファイルの送信」ダイアログを表示します。

送信先 ファイルを送信する相手のニックネームを入力する

送信ファイル 送りたいファイルの絶対パスを指定する。参照ボタンを押すとファイルダイアログを使ってファイルを選択できます

送信先と送信ファイルが正しく入力できたら、「送信」ボタンを押して下さい。これで相手に「ファイルを送信したい」という要求が伝えられます。相手がファイルの受信操作を行えばファイルの転送が始まります。

(2) ファイルをドラッグアンドドロップする

エクスプローラやファイルマネージャで、ファイルをマウスでつかみ、CHOCOA 画面上に移動し（ドラッグし）、そのままマウスを離して落して（ドロップ）ください。

- マウスを離れた位置が、ユーザーウィンドウ上のニックネーム上だった場合には、「ファイルの送信」ダイアログが次のような状態で開きます。
 - 「送信先」にファイルを落したニックネームが入ります
 - 「送信ファイル」にマウスでつかんだファイルのパスが入ります
- それ以外の場所で離れた場合には「誰に（ファイルのパス）を送信しますか？」というダイアログが出ます。送信相手のニックネームを入力してください。OK を押すとファイルの送信ダイアログが表示されます。

送信ダイアログの内容を確認した上で、「送信」ボタンを押して下さい。これで相手に「ファイルを送信したい」という要求が伝えられます。相手がファイルの受信操作を行えばファイルの転送が始まります。

ファイルの転送が終了すると、ダイアログのタイトルが「送信完了」に変わります。「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログを閉じて下さい。

なお、あらかじめ「送信完了時に自動的にこのダイアログを閉じる」にチェックをいれておけば、送信完了と同時に送信ダイアログが自動的に閉じます。

2.6.2. ファイルの受信

ファイルの送信要求を受けると CHOCOA はダイアログを表示します。何の前触れもなくいきなり表示するので、少し面食らうかもしれませんが落ちついて操作してください。

送信者	ファイルを送る人のニックネーム
ファイル名	送られてくるファイルの名前

ファイルのサイズ 送られてくるファイルの大きさ (バイト)

保存する場所 送られてくるファイルを保存する場所を指定。参照ボタンを押すとファイルダイアログを使って選択できます

受信ダイアログの内容を確認します。特に「保存する場所」はパス名として正しいかどうか (ディレクトリが存在するかどうか) をよく確認するようにしてください。また、組織内 IRC 以外のところで使う場合には送信者が自分の知合いか、また送られてくるファイルが妥当なものか確認するようにしてください。

受信ダイアログの内容の確認終了後受信する場合には「受信」ボタンを押して下さい。ファイルの転送が始まります。

受信が完了すると、ダイアログのタイトルが「受信完了」に変わります。「閉じる」ボタンを押してダイアログを閉じて下さい。

なお、あらかじめ「受信完了時に自動的にこのダイアログを閉じる」にチェックをいれておけば、受信完了と同時に受信ダイアログが自動的に閉じます。

2.6.3. レジューム受信

(1) レジューム受信とは?

ファイルの受信途中でなんらかの理由でファイル転送が失敗した場合、従来の CHOCOA0.2 では最初からやりなおすしかありませんでした。

しかし、CHOCOA1.0 では、新たに DCC RESUME に対応し、転送に失敗したところからやり直せるようにしました。

DCC RESUME を使って受信するには、送信側が DCC RESUME に対応している必要があります。たとえば次のような IRC クライアントは DCC RESUME 送信に対応しています。

- CHOCOA1.0(Windows 版、Macintosh 版とも)
- mIRC(Windows)
- ircle(Macintosh)

DCC RESUME 送信に対応していないクライアントに対して、DCC RESUME 受信を行うとファイル転送は必ず失敗しますので、送信する側のクライアントが DCC RESUME に対

応しているかどうか確認してください。なお、このため CHOCOA 自身もデフォルトでは DCC RESUME 受信が使えないようになっています(RESUME 送信は常に使用可能です)。DCC RESUME を使用する場合は、メニューの「設定」→「イベントスイッチ」で表示されるダイアログの「DCC」というタブをクリックし、「DCC RESUME 受信を使用する」にチェックをいれてください。

(2) レジューム受信するには？

レジューム受信する場合は、受信ダイアログで転送途中だったファイルを指定ください。そののち「受信」ボタンを押すと、上書きするか問い合わせるダイアログが表示されます。このダイアログに「レジューム」ボタンが増えますので、「レジューム」ボタンを押してください。これでレジューム受信を開始します。

2.7. CTCP メッセージ

CTCP(Client To Client Protocol)は、相手のクライアント情報を得るために用意された枠組です。CHOCOA では、VERSION、CLIENTINFO、USERINFO、PING、TIME という CTCP メッセージに対応しています。

表 3 CTCP メッセージ一覧

VERSION	クライアントのバージョンを調べます
CLIENTINFO	クライアントが対応している CTCP メッセージを調べます
USERINFO	相手のユーザー情報を調べます
PING	相手との時間的距離を調べます
TIME	クライアントの動いているマシンの時刻を調べます

CTCP メッセージを出すには、「コマンドメニュー」の「CTCP メッセージ」の下の各サブメニューを選んで下さい。

2.7.1. USERINFO の設定

以上の CTCP メッセージのうち USERINFO 以外は CHOCOA がメッセージを作って返事を返します。USERINFO だけはユーザーが内容を設定できます。

USERINFO を設定するには、「設定」→「一般」で、表示されるダイアログの「ユーザー」

タブを選んでください。

ユーザー情報という項目があります。このユーザー情報に設定した内容が CTCP USERINFO メッセージの返答に使われます。簡単な自己紹介などを記しておくといでしょう。

2.7.2. その他の CTCP メッセージ

IRC クライアントによってはここに挙げた CTCP メッセージ以外の CTCP メッセージをサポートしているものもあります（例えば OMIKUJI など）。このような CTCP メッセージを出すには、「コマンド」→「CTCP メッセージ」→「...メッセージ」を選択してください。

まず出力する送信メッセージの種類を入力するダイアログが表示されます。OMIKUJI などのメッセージ種類を入力し OK ボタンを押してください。

次に誰に送るかを聞いてきますので送り先を指定してください。

2.8. チャンネルダイアログ

チャンネルダイアログは、チャンネルのトピックやモードを簡単に設定できるようにしたダイアログです。チャンネルダイアログを開くには、入力行で「/channel」と入力するか、メニュー「チャンネル」→「チャンネルダイアログを開く...」を選びます。

2.8.1. 1. タイトルバー

チャンネルダイアログのタイトルバーは、チャンネルのモードとユーザーのチャンネルに対する権限によって次の 3 種類の表示になります。

1. トピックとモードが変更可能
ユーザーがチャンネルオペレータ権限を持つ場合
2. トピックのみ変更可能
ユーザーがチャンネルオペレータ権限を持たない場合で、チャンネルのモードに+t が設定されていない場合
3. 変更不可
ユーザーがチャンネルオペレータ権限を持たない場合で、チャンネルのモードに+t が設定されている場合

なお、変更できない部分については灰色表示しますので、変更できる部分と変更できない部分がはっきりとわかるようになっています。

2.8.2. 使用方法

チャンネルダイアログには、チャンネルダイアログを表示したときのチャンネルのトピックとモードが反映されています。変更したい部分をマウスでクリックするなどして変更してください。変更し終わったら「変更」ボタンをクリックすれば、チャンネルに反映されます。

2.8.3. 制限事項

チャンネルのモードを持たない+チャンネル(IRCnet ircd2.10 以降)には、チャンネルダイアログは使えません。

3. 設定編

3.1. IRC 設定

IRC 設定には、IRC サーバーとの接続に関する情報がまとめられています。「設定」→「IRC...」を選択すると設定ダイアログが開きます。

3.1.1. IRC 設定ダイアログ

「起動時に自動的に接続する」

CHOCOA 起動時に、設定された接続先に接続するかどうかのスイッチです。チェックすると自動的に接続します。

「サーバー名」

接続する IRC のサーバー名を記述します。組織内で使用されている場合には組織の IRC 管理者に尋ねてください。またインターネット上で使用するには以下のサイトを参考にしてください。なお、CHOCOA スタッフは各サーバーの運営には一切関係しておりませんので、サーバーの運用状況などのお問い合わせは各サーバーの管理者の方をお願いします。

- IRCNet-JP <http://www.ircnet.jp/>
- Reichenet <http://www.reichenet/>
- FriendChat <http://www.friend.td.nu/>

「ポート番号」

接続する IRC サーバーのポート番号を記述します。通常 6667 が使われます。

「ニックネーム」

IRC 上で使用する名前、ニックネームを指定します。基本的には英数字からなる 9 文字までの文字列が使用できます。

「自動的に Join するチャンネル」

IRC サーバーに接続した時に自動的に Join する（入る）チャンネルを指定します。一行に一チャンネル記述します。複数のチャンネルを指定したい場合には、改行で区切ります。

3.2. 一般設定

「設定」→「一般...」を選択すると設定ダイアログが開きます。この設定ダイアログでは次のような設定を行いません。

ユーザー	利用者に関する情報を設定します
ブラウザ	WWW 連携に関する情報を設定します
Internet Phone	Internet Phone の実行形式のパスを設定します
システム	CHOCOA のシステム的な設定を変更します
ディレクトリ設定	ログファイルを保存するディレクトリなどディレクトリについての設定を行ないます

それぞれの設定が終わったら OK ボタンを押して下さい。設定内容が反映されます。キャンセルボタンを押すと反映されません。

3.2.1. ユーザー

「ユーザー」タブをクリックすると、ユーザー設定シートが表示されます。

「ユーザーの名前」

利用者の本名を入力します (e.g. 富士通 研太郎)

「e-mail アドレス」

利用者のメールアドレスを入力します (e.g. hoge@example.com)

「ユーザー情報」

CTCP USERINFO メッセージに対して返す内容を記述します。なお CTCP USERINFO メッセージについては、CTCP メッセージの項を参考にしてください。

「デフォルト QUIT メッセージ」

アプリケーション終了時に IRC に接続していた場合に、サーバーに QUIT コマンドを送るのですが、このときに使用するメッセージを指定します。

3.2.2. ブラウザ

「ブラウザ」タブをクリックするとブラウザ設定シートが表示されます。

「ブラウザの実行形式」

使用する WWW ブラウザの実行形式のパスを指定します。WWW 連携機能では、ブラウザにページを開く時にブラウザが立ち上がっていない場合に、ここで指定したプログラムを実行します。

「自動的にページを開く」

会話中から URL を抽出したときに、抽出した URL を自動的にブラウザで開くかどうかのスイッチです。チェックすると自動的にページを開くようになります。

「page を開く時の処理」

URL をブラウザで開く時の処理を選択します。

- 新規ウインドウに開く - 新しくブラウザウインドウを開きそこに表示します
- 現在のウインドウに開く - 現在使用しているブラウザウインドウにページを開きます

「自分の発言中の URL は抽出しない」

自分の発言から URL を抽出するかどうかのスイッチです。チェックすると自分の発言からは URL を抽出しないようになります。

3.2.3. Internet Phone

「Internet Phone」タブをクリックすると Internet Phone 設定シートが表示されます。

「Internet Phone の実行形式」

使用する Internet Phone の実行形式のパスを指定します。Internet Phone 連携機能では、Internet Phone が立ち上がっていない場合にこのパスで指定されたプログラムを実行します。なお Internet Phone 連携機能は Internet Phone Ver3.2 以降に対応しています。

3.2.4. システム

「システム」タブをクリックするとシステム設定シートが表示されます。

「バッファサイズ」

CHOCOA ではメモリを食い潰さないように各チャンネルのメッセージが一定量を越えたら自動的に削除するようにしています。

- 「最大」は各チャンネルのメッセージを最大何バイトまで保有するかを指定します。
- 「削除後」は最大を越えたあと何バイトまでメッセージを減らすかを指定します。なおメッセージの削除は古いものから順に行なわれます。

「ヒストリ」

自分の発言した内容を最大何個まで履歴をとるかを指定します。履歴は、↑、↓でたどることができます。

3.2.5. ディレクトリ設定

「ディレクトリ設定」タブをクリックするとディレクトリ設定シートが表示されます。

「チャンネルログ」

「自動的に保存する」

チャンネルの会話をファイルにロギングするかどうかのスイッチです。チェックすると自動的に保存するようになります。

「保存ディレクトリ」

ログを保存するディレクトリを指定します。

「URL ログ保存ディレクトリ」

「自動的に保存する」

WWW 連携機能により抽出した URL をログファイルに保存するかどうかのスイッチです。チェックすると自動的に保存するようになります。

「保存ディレクトリ」

ログを保存するディレクトリを指定します。

「ファイル受信」

「ファイル受信ディレクトリ」

ファイル受信の時にファイル保存先として使われるデフォルトのディレクトリを指定します。

なお、チャンネルログと URL ログについてはロギングの項も参照してください。

3.3. 画面スタイル

CHOCOA では、画面スタイルに関して次のようなカスタマイズが行なえます。

- 色
 - 時刻の表示色
 - ニックネームの表示色
 - システムメッセージの表示色
 - 各メッセージの色
- スタイル
 - join、part、quit、nick メッセージの表示の ON、OFF
 - 入力ウィンドウの位置

- チャンネル名を表示するかどうか
- 「(ここに文章を入力すると...)」を表示するかどうか

3.3.1. 色

画面スタイルを変更するには、「設定」の「画面スタイル...」を選択して画面スタイル設定ダイアログを開きます。

(1) 時刻表示の色

CHOCOA では発言の前に発言時刻を記述します。この時刻の色を変更します。「色の選択」ボタンを押して色を選択してください。

また「メッセージに時刻をつける」のチェックボックスを外すと発言時刻を表示しないようにもできます。

(2) ニックネームの色

CHOCOA では発言を表示するときに、ニックネームを記述します。このニックネームの部分の色を変更します。「ニックネームに色をつける」チェックボックスにチェックした上で色を選択してください。

(3) システムメッセージの色

「Fujitsu has joined #mx」のようなチャンネルへの参加・離脱など会話以外のメッセージの色を変更できます。「システムメッセージに色をつける」をチェックした上で色を選択してください。

(4) 各メッセージの色

システムメッセージの色とは別に各メッセージごとに色を設定することもできます。現在設定可能なメッセージは JOIN、PART、QUIT、NICK、TOPIC、MODE、NAMES、KICK、INVITE です。

メッセージ種別でメッセージを選んだあと、「この色を使う」チェックボックスにチェックして色を選択してください。

3.3.2. スタイル

(1) Join,Part,Quit,Nick メッセージを表示しない

IRC では通常の会話以外に、チャンネルに入った (join)、チャンネルを抜けた (part)、IRCをやめた (Quit)、ニックネームを変更した (Nick) といったメッセージも表示します。ネットワークの状態によっては、このメッセージが大量に表示され会話がよく見えないことがあります。そこで、このメッセージを表示するかどうかを指定できるようにしています。

チェックボックスにチェックすると表示しないようになります。

(2) 入力ウィンドウを下に表示する

入力ウィンドウを、メインウィンドウの上に表示するか、メインウィンドウの下 (サブウィンドウの上) に表示するかを指定します。

チェックをするとメインウィンドウの下に表示します。

(3) (3)現在のバッファにチャンネル名を表示しない

メインウィンドウ上の発言は、デフォルトでは

<#mx:Fujitsu>こんにちは

のようになっています。これを

<Fujitsu>こんにちは

のようにチャンネル名を隠した表示にします。

(4) 「(ここに文章を...)」を表示しないようにする

CHOCOA では、入力ウィンドウがどのウィンドウかわかるように、「ここに文章を入力して...」という文字列を入力ウィンドウに表示しています。しかしながら、慣れてくると当然のことながらうっとうしくなります。

このチェックボックスをチェックすると以降は表示しなくなります。

(5) 画面停止を自動にする

CHOCOA では、「画面停止」ボタンをチェックすることで、スクロールを止められます。さらに、この「画面停止を自動にする」にチェックすると、最終行が画面上に表示されなくなったときに自動的に画面停止状態になり、また最終行が画面上に表示されると自動的に画面停止状態が解除されるようになります。

3.4. イベントスイッチ

イベントスイッチ設定には、CHOCOA の挙動を変更するためのスイッチが集められています。

Join	ユーザーが Join したときの動作を設定します
Privmsg	Private Message を受信したときの動作を設定します
Invite	Invite されたときの動作を設定します
Mode	チャンネルモードに関連する設定を行います
接続	サーバー接続に関連する設定を行います
NOTIFY	NOTIFY 機能に関連する設定を行います
終了	CHOCOA 終了時の動作を設定します
DCC	DCC に関連する設定を行います

3.4.1. Join

「ユーザー名とホスト名も表示する」

JOIN の形式を「*** nick has joined channel #channel」から「*** nick(user@hostname) has joined channel #channel」に変更します。

3.4.2. Privmsg

「バッファを自動的にアクティブにしない」

相手から一対一で話かけられただけでは、その相手用のバッファをチャンネルリストに追加しません。

「個人宛てメッセージが届いたら音で知らせる」

一対一で話かけられたときに、音を鳴らして知らせます。「WAVE ファイルを使用する」にチェックを入れて、wav ファイルを指定することもできます。

3.4.3. Invite

「INVITE されたチャンネルに自動的に JOIN する」

INVITE されたチャンネルに自動的に JOIN します。なお、この機能はイントラネットなど比較的安全な IRC サーバーに接続したときのみ使用してください。インターネット上の IRC サーバーに接続する場合には、この機能を使用しないでください。

3.4.4. Mode

「チャンネルキーをタイトルバーに表示しない」

CHOCOA では、タイトルバーにモード文字列を表示しますが、この際にチャンネルキーを表示しないようにします。

3.4.5. 接続

「自動再接続する」

サーバーとの接続が切れたときに、自動的に再接続します。

「フラッドプロテクションを利用する」

サーバーへの送信流量を自動的に抑えます(サーバーによっては、流量が多くなると接続を切断されるものがあり、この機能を利用することで切断されないようにします)。

「接続が切れたときにバッファを消さない」

サーバーとの接続が切れた場合でも、各チャンネルのバッファを表示したままにしておきます。

「Nick 使用不可時他候補を自動選択する」

既に使用されているなどの理由で、ニックネームが使用できない場合に、自動的に別のニックネームを選択します。ニックネームの「末尾の数字を増やす」方法と、「末尾に_を追加する」方法が選択できます。

3.4.6. NOTIFY

「NOTIFY 機能を使う」

指定したニックネームのユーザーが IRC 上にいるかどうかを自動的にチェックします。

「追加」ボタンで、チェックしたいニックネームを入力してください。

「チェック間隔」

チェックする間隔を秒数で指定してください。

3.4.7. 終了

「終了確認ダイアログを表示しない」

CHOCOA 終了時に表示される終了確認ダイアログを表示しないようにします。

「キーワード確認ダイアログを表示しない」

CHOCOA 終了時に表示されるキーワード確認ダイアログを表示しないようにします。

3.4.8. DCC

「DCC CHAT を無視する」

DCC CHAT の要求をすべて無視します。

「DCC SEND を無視する」

DCC SEND の要求をすべて無視します。

「DCC RESUME 受信を利用する」

DCC RESUME 受信機能を有効にします。

「DCC 自動無視機構を使用する」

過大な DCC 要求を受け付けたときに、自動的に以降の DCC を無視するようになります。

4. 高度な機能編

4.1. メニューを消す

CHOCOA1.0 では、少しでも画面を広く使えるように、メニューを消すことができるようになっています。消したメニューはシステムメニューに収納され、タイトルバーの左にある CHOCOA アイコンをクリックすると表示されます。

4.1.1. メニューを消す

メニューを消すには、次のような方法があります。

- メニューの「表示」→「メニューを消す」を選ぶ
- メニューの「設定」→「画面スタイル」でダイアログを表示する。「スタイル」タブをクリックし、「メニューをシステムメニューに収納する」にチェックをいれる。

4.1.2. 消したメニューを使用する

消したメニューは、システムメニューに収納されますので、メニューを再表示しなくてもメニューは使用できます。

1. タイトルバーの左にある CHOCOA アイコンをクリックして(もしくは ALT+SPACE)、システムメニューを表示します。
2. 表示されたシステムメニューに「CHOCOA」という項目があります。
3. この「CHOCOA」の下に、日頃見慣れた CHOCOA のメニューがありますので、使いたいメニュー項目を選択してください。

4.1.3. 消したメニューを元に戻す

消したメニューを元にもどしたい場合も簡単な操作で行えます。

1. 「消したメニューを使用する」場合と同様に、タイトルバーの左にある CHOCOA のアイコンをクリックして、システムメニューを表示します。
2. 表示されたシステムメニューの最後に、「メニューを表示する」という項目があります。
3. この「メニューを表示する」を選択すると、メニューが通常表示に戻ります。

4.2. チャンネル番号

CHOCOA1.0 では、内部的にチャンネルに番号をつけています。このうち、0～19 番までについては特別扱いを行い、チャンネルセレクト中にチャンネル番号を表示し、また、キーの組み合わせで直接移動できるようにしています。

4.2.1. チャンネル番号の割り当て方法

通常、CHOCOA は、チャンネルに join すること、一対一チャンネルをひらくごとに番号を小さい方から割り当てていきます。

4.2.2. チャンネル番号の整理

CHOCOA では、あるチャンネルに番号を割り当てた場合、そのチャンネルをぬけても番号を解放しません。これは、再度そのチャンネルに入った場合に同じ番号が割り当てられるようにするためです。

ぬけたチャンネルに割り当てられている番号を解放するには、メニューの「コマンド」
「チャンネルバッファを整理する」を選んでください。これで、番号が解放されます。

4.2.3. チャンネル番号予約

利用方法によっては、あるチャンネルの番号は join の順序に関係なく固定したい場合もございます。このような要望に応えるため、CHOCOA1.0 ではチャンネル番号を予約できるようにしています。

ただし、0 番については、常に「*Console*」に固定されていますので、ユーザーが予約できる番号は 1～19 番までとなります。

4.2.4. チャンネル番号を予約するには？

チャンネル番号を予約するには、次のようにします。

1. メニューの「チャンネル番号予約」を使ってチャンネル番号予約ダイアログを表示します。
2. 予約したい番号のボタンをクリックします。

3. ダイアログが表示されますので、この番号に割り当てるチャンネル名を入力し OK ボタンを押します。
4. 上記の操作を予約したい番号に対して行い、最後に OK ボタンを押します。

4.2.5. チャンネル番号の予約を取り消すには？

予約したチャンネル番号を取り消すには、チャンネル番号を予約する方法でチャンネル名を入れる部分を空にして OK を押すと取り消せます。

4.3. チャンネル別名(エイリアス)設定

CHOCOA では、チャンネル名に別名をつけることができます。例えば、「#CHOCOA」に対して「%ちょこあ」という別名を定義すると

- メインウィンドウ・サブウィンドウ上に表示されるチャンネル名
- ドロップダウンリストのチャンネル名
- タイトルバーに表示されるチャンネル名
- ログファイルを格納するディレクトリ

など、すべて「#CHOCOA」から「%ちょこあ」に変わります。特にログファイルを格納するディレクトリも変更されることに注意してください（なお、「%ちょこあ」の場合実際には%が%25に変更されるので「%25 ちょこあ」になります）。

またこの別名によりチャンネル名が変更されるのは、設定した利用者のクライアントだけです。IRC サーバー上のチャンネル名にはなんら影響しません。他の人にチャンネル名を教える時など注意してください。

4.3.1. チャンネルに別名を設定する

次のいずれかの方法で、チャンネルに別名を設定します。

- 「チャンネル」→「エイリアス名を設定する...」を選ぶ
- 「設定」→「チャンネルエイリアス設定...」を選ぶ

(1) 「エイリアス名を設定する...」を選ぶ

「エイリアス名を設定する...」を選ぶと、ダイアログが開きます。このダイアログに別名を入力すると、メインチャンネルに対しての別名が設定できます。

(2) 「チャンネルエイリアス設定...」を選ぶ

「チャンネルエイリアス設定...」を選ぶとダイアログが表示されます。

「デフォルトマスク」

デフォルトマスクが「*.jp」の場合、「#CHOCOA:*.jp」というように最後が「:*.jp」で終るチャンネルは、自動的に「%CHOCOA」に変換されます。このマスクは、地域限定のチャンネルを作成するために用意されたものです。日本で使い続ける限り*.jp のままで問題ないでしょう。

「追加」

チャンネルの本名と別名の組を追加します。追加ボタンを押すと、ダイアログが表示されます。まずチャンネルの本名（IRC サーバー上での名前）を入力し、OK ボタンをクリックします。次にチャンネルの別名を指定し、OK ボタンをクリックします。

「変更」

選択したチャンネルの本名と別名の組の内容を変更します。

「削除」

選択したチャンネルの本名と別名の組を削除します。

「OK」ボタンを押すと変更内容が反映されます。「キャンセル」ボタンを押すと変更内容が忘れ去られます。

4.4. NAT 用設定

4.4.1. NAT とは?

NAT(Network Address Translation)は、ダイアルアップルータなどで使われている機能で、(たとえば、プライベートアドレスからグローバルアドレスのように)アドレスを変換する機能を言います。この機能を使うことで、端末型契約している ISP に複数の端末を(あたかも LAN 型契約のように)接続できるようになっています。

4.4.2. DCC 送信における NAT の弊害

非常に便利な NAT 機能ですが、CHOCOA でファイルを送信した場合、NAT 機能の実装が不十分である場合ファイル送信が失敗します。

DCC では自ホストの IP アドレスを、IRC のメッセージを使って転送したい相手に伝えま

す。NAT を使用している場合、この IP アドレスは NAT の外側から見た場合有効ではない IP アドレスですので、このアドレスも変換する必要があります。多くのダイアルアップルータではこの変換を行ってくれません。このため、「ダイアルアップルータを導入すると、ファイル送信がうまくいかない」という問題が発生します。

4.4.3. NAT 用設定

このようなダイアルアップルータの不具合に、CHOCOA 側である程度対処できるようにしたのが、NAT 用設定です。

NAT を使った環境で、ファイル転送をするためには次のような手順を踏みます。

(1) ダイアルアップルータ側でやること

1. ダイアルアップルータのインターネット側の IP アドレスを調べる
2. 使っていない任意のポート番号を一つ選びます
3. ダイアルアップルータ側で、「2 で選んだポートに対する接続要求をファイル送信したい PC に転送する」ように設定します

(2) CHOCOA 側で行うこと

1. CHOCOA 側のメニュー「設定」 「高度な設定」でダイアログを開き、「NAT 用設定」と書かれたタブをクリックします
2. 「NAT 設定を使用する」にチェックを入れます
3. アドレスに、先ほどダイアルアップルータ側で調べておいた IP アドレスを入力します
4. ポート番号に、先ほど選んだポート番号を入力します
5. 「OK」を押してダイアログを閉じます。

これで、NAT 環境でもファイル送信を行うことができます。

5. 管理者向け機能編

5.1. CHOCOA 設定ファイルとは

CHOCOA のサーバ接続や画面スタイル等の設定を 1 つのファイルにまとめたものです。そのファイルを利用することにより、CHOCOA の設定をまとめて保存、流通させることができます。拡張子を".cho"にしておくこと、そのファイルをダブルクリックすることにより CHOCOA に設定をインストールできます。

5.1.1. 設定ファイルの簡単な作り方

設定のエクスポート機能を使うと簡単にできます。

- 「設定」 「複数サーバ登録」を選択する。
- 「サーバの編集」ダイアログが出る。エクスポートする対象となる設定名を選択しエクスポートボタンを押す。
- ファイルダイアログが開き、設定ファイルを保存。

5.1.2. 設定ファイルフォーマット

CHOCOA 設定ファイルは拡張子".cho"です。また、CHOCOAScript のインストールだけを目的として".csi"という拡張子のファイルを作ることができます。".csi"の中身を".cho"に追加することにより、サーバ設定と同時にスクリプトのインストールが可能です。各ファイルの詳細なフォーマットについては付録を参照してください。

5.1.3. 注意

.cho および.csi ファイルの文字コードは SJIS を使用してください。

5.1.4. 設定ファイルサンプル

```
[IRC]
NAME=CHOCOA-NET
RealName=チョコア太郎
Password=chocoa
Mail=chocoa-staff@chocoa.org
Nick=chocoa
ServerCount=3
```

```
[Server]
ServerName=irc1.fujitsu.co.jp
Port=6668
```

```
[Server0]
ServerName=irc1.flab.fujitsu.co.jp
Port=6668
```

```
[Server1]
ServerName=irc1.flab.fujitsu.co.jp
Port=6667
```

```
[Server2]
ServerName=irc2.fujitsu.co.jp
Port=6667
```

5.1.5. ".cho"ファイルをダブルクリック時の注意点

(1) 問い：あらかじめ設定が一つも無い場合はどうなりますか？

通常は空の設定ウィザードが立ち上がりますが、".cho"ファイルを使った場合、".cho"ファイルを利用して入力データを初期化したウィザードが立ち上がります。

(2) 問い：サーバに自動接続の設定のある場合はどうなりますか？

自動接続しません。".cho"ファイルを利用して入力データを初期化したウィザードが立ち上がります。

6. 付録

6.1. ショートカットキー

表 4 ショートカットキー一覧

CTRL+0 CTRL+1 ... CTRL+9	チャンネル番号 0~9 のチャンネルに直接移動
CTRL+ALT+0 CTRL+ALT+1 ... CTRL+ALT+9	チャンネル番号 10~19 のチャンネルに直接移動
CTRL+↑ CTRL+↓	チャンネルの回転
CTRL+TAB	CTRL+↓と同じ
SHIFT+CTRL+TAB	CTRL+↑と同じ
CTRL+← CTRL+→	複数サーバー接続時に、フレーム間を移動
CTRL+F6	フォーカスをメインウインドウ、ユーザーウインドウ、チャンネルウインドウ、サブウインドウ、メインウインドウ...の順に移動
SHIFT+CTRL+F6	CTRL+F6 と逆順にフォーカスを移動
CTRL+ALT+A	「チャンネル」→「Action メッセージを出す...」と同じ
CTRL+C CTRL+INSERT	選択した範囲をコピーしてクリップボードに格納
CTRL+F	「コマンド」→「身元を調べる...」と同じ
CTRL+ALT+F	画面停止ボタンを ON/OFF する
CTRL+ALT+I	「チャンネル」→「このチャンネルに招待する...」と同じ
CTRL+J	「コマンド」→「チャンネルに入る...」と同じ
CTRL+ALT+K	「チャンネル」→「このチャンネルから蹴り出す...」と同じ

CTRL+ALT+M	「チャンネル」→「モードの変更...」と同じ
CTRL+ALT+N	NetMeeting による会話の開始
CTRL+N	「コマンド」→「ニックネームを変更する...」と同じ
CTRL+P	「コマンド」→「チャンネルから抜ける...」と同じ
CTRL+ALT+P	「チャンネル」→「このチャンネルを抜ける...」と同じ
CTRL+Q	「コマンド」→「IRC を終了する...」と同じ
CTRL+S	「ファイル」→「ファイル名をつけてログの保存...」と同じ
CTRL+ALT+S	「編集」→「検索」と同じ
CTRL+ALT+T	「チャンネル」→「トピックの設定」と同じ
CTRL+U	「URL」→「詳細」と同じ
CTRL+ALT+U	URL ボタンと同じ (外部ブラウザで現在表示しているページの URL を引用する)
CTRL+V SHIFT+INSERT	クリップボード中の文字列を挿入位置に挿入する
CTRL+ALT+V	InternetPhone を使った会話の開始
CTRL+X SHIFT+DELETE	選択範囲を切り取ってクリップボードに格納
CTRL+Y	「ファイル」→「名前を呼ばれたか確認...」と同じ
ALT+↓	ユーザーウィンドウの右クリックメニューを表示
ALT+←	フォーカスを入力行に移動
ALT+→	フォーカスをユーザーウィンドウに移動
ALT+↑	メインウィンドウの右クリックメニューを表示
SHIFT+↓ SHIFT+↑	メインウィンドウを一行スクロールする
PageUp PageDown	メインウィンドウを一ページスクロールします
CTRL+HOME CTRL+END	メインウィンドウを先頭, 末尾に移動します

6.2. 設定ファイルについて

- 設定ファイルは、ini ファイル形式になっています。
- 以下の表には、項目を左から"必須","セクション","エントリ","例","説明"という順序で説明していきます。
- 必須項目に のあるものは、設定しなくてはならない項目で、他はオプションになります。
- 複数行にまたがる設定（例：キーワード）等は以下のように設定します。
 - 例えば line0,line1...という形式で、"文字列"+"数字"という形式で設定します。
 - 番号が飛んでいる場合（line2 の次ぎが line4 である場合）は番号が飛ぶ前まで読み込みます。
- 拡張子は".cho"です。このファイルをクリックすることにより CHOCOA が起動し設定ウィザードが表示されます。

6.2.1. 各セクションおよびエントリに関する説明

表 5 エントリー一覧

必須	セクション	エントリ	例	説明
	[IRC]	基本設定		
		Name	IRCNETWORK	設定名
		Nick	nickname	起動時に使うネットワーク
		Password		IRC サーバパスワード
		RealName	chocoouser	リアルネーム
		Mail	chocoa-staff@irc.fujitsu.co.jp	メールアドレス
		AutoJoinChannel	#Channel1 #Channel2	IRC サーバ接続時に JOIN するチャンネル名。"(SPACE)"で区切るにより複数設定可能
		AutoConnectOnBoot	0	起動時に IRC サーバ接続を行うかどうか

CHOCOA ユーザーズガイド

	UserInfo	ユーザ情報は設定されていません	CTCPのUSERINFOに対する返答
	DefaultQuitMessage	CHOCOA	終了時のメッセージ
[Server]	最初に接続対象となるサーバ		
	ServerName	chocos.fujitsu.co.jp	IRCサーバ名
	Port	6667	ポート番号
[Server0]	複数接続時に必要となるサーバ名。[Server0],[Server1]...[ServerN]という形式で追加可能		
	ServerName	chocos.flab.fujitsu.co.jp	IRCサーバ名
	Port	6667	ポート番号
[Browser]	ブラウザ設定		
	Browser	2	起動されるブラウザ
	BrowserPath	C:¥Program Files¥Plus!¥Microsoft Internet¥IExplore.exe	ブラウザパス
	AutoOpenURL	0	自動的にブラウザを開く
	NotOpenPrivURL	0	1対1で発言されたURLを自動的に開かない
	NewWindow	0	新しいウィンドウで開く
	IgnoreOwnURL	0	自分の発言中のURLは無視する
	IPhone	0	インターネットフォンの種類
	IPhonePath	c:¥Program Files¥VocalTec¥Intern et Phone¥iphone4.exe	インターネットフォンパス
	NetMeetingPath	c:¥Program Files¥NetMeeting¥co nf.exe	ネットミーティングパス
[System]	システム		

CHOCOA ユーザーズガイド

		MaxBufferSize	30000	バッファサイズ
		ThresholdBufferSize	15000	削除後のバッファサイズ
		MaxHistory	10	履歴数
		PasteConfirm	0	ペースト時に確認ダイアログを出す
	[Directory]	ディレクトリ		
		AutoChannelLogSave	1	自動的にチャンネルのログを保存する
		ChannelLogsDir	C:¥Program Files¥CHOCOA	ログを保存するディレクトリ
		AutoURLLogSave	0	自動的に URL をログファイルに保存する
		URLLogsDir	C:¥Program Files¥CHOCOA	URL を保存するディレクトリ
		DCCReceiveDir	F:¥tmp	ファイル受信ディレクトリ
		AutoConsoleLogSave	1	自動的にコンソールのログを保存する
	[PopUpMain]	メインウィンドウにおける右クリックメニュー設定		
		line0	Join ?:/join \$ask("どのチャンネルに入りますか?")	
中略				
		line23	.メモ帳:/run notepad	
	[PopUpUser]	ユーザリストにおける右クリックメニュー設定		
		line0	Whois:/whois \$0	
中略				
		line15	.CHAT:/join "=\$0"	
		DoubleClick	/whois \$0	ダブルクリック時に動くスクリプト

[PopUpChannel]	チャンネルリストにおける右クリックメニュー設定		
	line0	Topic:/topic \$0 \$ask("new topic for this channel")	
	DoubleClick	/join \$0	ダブルクリック時に動くスクリプト
[Keyword]	キーワード設定		
	line0	たまご	キーワード 1
中略			
	line10	ALL	キーワード 11
	Beep	1	キーワードで呼ばれたときに beep を鳴らす
	UseWaveFile	0	キーワードで呼ばれたときに WAV ファイルを再生する
	WaveFilePath		WAV ファイルへのパス
	Raise	0	キーワードで呼ばれたときに 前面に出す
	Deiconify	0	キーワードで呼ばれたときに 非アイコン化する
	FlashWindow	0	キーワードで呼ばれたときに タイトルバーを点滅させる
	BeepIgnoreCase	1	キーワード設定の大文字小文字の区別をしない
[Font]	フォント設定		
	Height	-13	
	Weight	400	
	Italic	0	
	Underline	0	
	CharSet	128	
	PitchAndFamily	49	

CHOCOA ユーザーズガイド

		FaceName	MS ゴシック	
	[DisplayStyle]	画面スタイル		
		UseTimeStamp	1	時刻を表示する
		crTime	16711680	時刻の色(10進数)
		UseNickColor	0	ニックネームに色をつける
		crNick	0	ニックネームの色(10進数)
		UseDefaultColor	0	システムメッセージに色をつける
		crDefault	0	システムメッセージの色(10進数)
		UseWindowsColor	0	Windows の指定に従う
		crText	4194368	文字の色(10進数)
		crBackground	12632256	背景色(10進数)
	[Color]	色設定		
		UseJoinColor	1	JOIN メッセージに色をつける
		crJoin	255	メッセージ色(10進数)
		UsePartColor	1	PART メッセージに色をつける
		crPart	16711680	メッセージ色(10進数)
		UseQuitColor	1	QUIT メッセージに色をつける
		crQuit	16711808	メッセージ色(10進数)
		UseNickColor	0	NICK メッセージに色をつける
		crNick	0	メッセージ色(10進数)
		UseTopicColor	0	TOPIC メッセージに色をつける
		crTopic	0	メッセージ色(10進数)

CHOCOA ユーザーズガイド

		UseNamesColor	0	NAMES メッセージに色をつける
		crNames	0	メッセージ色(10 進数)
		UseMODEColor	0	MODE メッセージに色をつける
		crMODE	0	メッセージ色(10 進数)
		UseKICKColor	0	KICK メッセージに色をつける
		crKick	0	メッセージ色(10 進数)
		UseInviteColor	0	INVITE メッセージに色をつける
		crINVITE	0	メッセージ色(10 進数)
		UseNotifyColor	0	NOTIFY メッセージに色をつける
		crNOTIFY	0	メッセージ色(10 進数)
	[Style]	スタイル		
		NotDisplay	0	JOIN,PART,NICK,QUIT メッセージを表示しない
		InputWindow	1	入力ウィンドウの位置(0:上,1:中)
		HideChannelName	0	チャンネル名を表示しない
		HIdelInitialMessage	1	「ここに文章を...」を表示しない
		AutoFreezeMode	0	画面停止モードの自動化
		MemberListViewMode	1	メンバーリストの表示モード(0:一覧,1:詳細)
		ChannelListViewMode	1	チャンネルリストの表示モード(0:一覧,1:詳細)
		UseMemberIcon	1	メンバーアイコンを使う
		UseChannelIcon	1	チャンネルアイコンを使う
		UserListAutoSort	0	メンバーリストの自動ソート

				を行う
		TopMost	0	最前面に表示する
		UseSystemMenu	0	CHOCOA のメニューをシステムメニューに入れる
	[EventSwitch]	イベントスイッチ		
		JoinShowUserHost	0	JOIN メッセージでユーザホストも表示する
		PrivDoNotAutoActive	0	PRIVMSG を受信したときにバッファをアクティブにしない
		PrivBeep	1	1 対 1 で PRIVMSG がきたときに Beep を鳴らす
		PrivBeepUseWave	1	1 対 1 で PRIVMSG がきたときに WAV ファイルを再生する
		PrivBeepWaveFilePath	C:\WINNT\Media\chimes.wav	1 対 1 で PRIVMSG がきたときに再生する WAV ファイルへのパス
		InviteAutoJoin	0	自動的に INVITE される
		ModeHideKeyword	0	チャンネルキーワードを表示しない
		AutoReconnect	0	自動的にサーバに再接続する
		UseFloodProtection	1	フラッドプロテクションを使う
		DontRemoveBufferOnClose	0	切断時に自動的にバッファをクリアしない
		UseAutoNickSelect	0	NICKNAME が使用できないときに自動的に別のニックネームを使う
		NickSelectSchema	1	NICKNAME を自動生成するスキーマ

CHOCOA ユーザーズガイド

		HideComfirmExitDialog	1	終了確認ダイアログを表示しない
		HideKeywordConfirm	0	終了時にキーワード確認ダイアログを表示しない
	[Notify]			
		UseNotify	1	NOTIFY 機能を使う
		Frequency	30000	チェック間隔(ms)
		nick0	mul	ニックネーム 1
		execwhois0	1	nick0 に対して WHOIS を実行する
		wavefilepath0	C:\WINNT\Media\rin gin.wav	nick0 がいる場合に鳴らす WAV ファイルへのパス
	[ChannelAlias]	チャンネルエイリアス		
		ChannelAliasDefaultMask	*.jp	デフォルトマスク
		hostchannel0	会議室 1	networkchannel0 のエイリアス
		networkchannel0	#channel1	元のチャンネル名
		channelnum0		チャンネル番号予約 1 のチャンネル名
中略				
		channelnum19		チャンネル番号予約 20 のチャンネル名
	[IgnoreList]	無視リスト		
		line0	*!*@*.com	無視リスト 1
	[Socks]	SOCKS の設定		
		UseSocks	0	SOCKS を使う
		SocksVersion	0	SOCKS のバージョン
		SocksServer		SOCKS サーバ名

		SocksPortNum	1080	SOCKS ポート番号
	[CODE]	文字コード		
		UseSJIS	0	SJIS を使う
	[NAT]	NAT の設定		
		UseNAT	0	NAT を使う
		NatIP	0	NAT の IP アドレス
		NatPort	0	NAT のポート番号
	[Script]	スクリプト		
		servicefile0	C:¥Program Files¥CHOCOA¥scrip t1.csf	スクリプトファイル 1
中略				
		servicefile14	C:¥Program Files¥CHOCOA¥scrip t15.csf	スクリプトファイル
		ActiveService0	on	スクリプトファイルのアクテ ィブ / 非アクティブ設定
中略				
		ActiveService14	off	スクリプトファイルのアクテ ィブ / 非アクティブ設定
		WritableFile0	C:¥Program Files¥CHOCOA¥dow nload¥status.txt	http アクセス機能を使い上書 可能なファイルのファイル名
		InitGlobalFirst	0	共通スクリプトから先に初期 化する。

6.3. 設定ファイルについて

- 設定ファイルは、ini ファイル形式になっています。
- 以下の表には、項目を左から"必須","セクション","エントリ","例","説明"という順序で説明していきます。

- 必須項目に のあるものは、設定しなくてはならない項目で、他はオプションになります。
- 複数行にまたがる設定（例：キーワード）等は、設定数も設定するようになっています。
- 拡張子は".csl"です。このファイルをクリックすることにより CHOCOA が起動し設定ウィザードが表示されます。
- CHOCOA 設定ファイル（拡張子".cho"）に以下の形式で追加記述することにより、サーバの設定とスクリプトのインストールを同時に行うことができます。
- スクリプトのダウンロード先は CHOCOA.exe のあるディレクトリ以下になります。
- CHOCOA.exe のあるディレクトリ以下に更にディレクトリを作ってそこにファイルをダウンロードすることもできます。（Dir0,Dir1...を書く）
- Dir0,Dir1...は不必要であれば省略可能です。

6.3.1. 同時に 2 つ以上のスクリプトを登録したい場合について

同時に 2 つ以上のスクリプトを登録したい場合には以下の様に設定します。

- UrIN に URL を設定する。
- CHOCOA 以下のディレクトリにインストールしたい場合には DirN を書く（そうではない場合には省略可能）。
- NameN にサービス名を書きます。
 - 書かない場合にはインストールできません。
 - NameN は.csf ファイルをダウンロードする前にサービス名のチェックをするために使います。
 - ダウンロードした.csf ファイルのサービス名と NameN が異なる場合にもインストールしません。

6.3.2. 各セクションおよびエントリに関する説明

表 6 エントリー一覧

必須	セクション	エントリ	例	説明
	[Service]			
		Message	ニックネームに応じてアイコンを変更します。	スクリプトに関する説明

	Author	富士通研究所	作成者
	Mail	chocoa-staff@irc.fujitsu.co.jp	メールアドレス
	Version	0.6	スクリプトのバージョン
	Date	19990304	作成日
	Name	アイコン変更器セット	スクリプトセット名(サービス名ではない)
	UrlCount	26	ダウンロードするファイル数
	Url0	http://irc.chocoa.com/chocoa/ch_icon/ch_icon.csf	ダウンロード対象となるファイルのURL
	Dir0		ダウンロード先のディレクトリ
	Name0	アイコン変更器	Url0 に対するサービス名
中略			
	Url2	http://irc.chocoa.com/ch_icon/icon_file/bot_icon.ico	ダウンロードするファイル
	Dir2	icon_file	ダウンロード先のディレクトリ

6.3.3. 注意点

(1) 問い : Url0 という設定を 2 個所してしまうとどうなりますか？

より先頭の方の設定が有効になります。

(2) 問い : Dir0,,,は省略可能ですか？

省略可能です。

(3) 問い : UrlCount と Url0..UrlN の数が違う場合にはどうなりますか？

少ない場合にはその Url まで読み込みます。多い場合には不正な形式としてエラーメッセージを出します。